

【 養 蜂 】

1 開催期日 令和8年12月8日(火)～12月10日(木) 3日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
12月8日 (火)	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	養蜂をめぐる情勢について 畜産局 畜産振興課 技術第2班 係長 小野 歩
	14:45 ～15:45	花粉交配用昆虫をめぐる情勢について 農産局 園芸作物課 施設園芸対策班 課長補佐 児島 貴郎
	16:00 ～17:00	養蜂における農薬被害対策について 消費・安全局 農産安全管理課 農薬対策室
12月9日 (水)	8:45 ～11:45	蜜蜂の飼養と疾病対策(養蜂編、蜂病編) 玉川大学名誉教授 中村 純
	12:45 ～13:45	養蜂における蜜源植物の知識と重要性 玉川大学名誉教授 佐々木正己
	14:00 ～15:00	蜂群の配置調整について 玉川大学名誉教授 中村 純
	15:15 ～17:15	課題討論 「地域における養蜂の課題とその対応」 玉川大学名誉教授 中村 純 一般社団法人日本養蜂協会 理事 石塚 武夫 畜産局 畜産振興課 技術第2班 係長 小野 歩
12月10日 (木)	8:45 ～11:15	総合討論「養蜂の課題」 玉川大学名誉教授 中村 純
	11:15 ～11:30	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0248-25-7060

F A X 0248-25-6755

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体又は畜産関係団体の職員で養蜂関連分野に配属されて原則 5 年程度
の者、養蜂業等に従事する者

5 受講者数 40 名程度

6 受講者の留意事項

(1) 受講者は、宿泊等については研修開始 10 日前までに中央畜産研修施設へ直接申し
込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊
届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡
すること。

(2) 研修施設への入所は、研修初日の 9 時 00 分～12 時 00 分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等
への訪問は避けること。

(3) 受講者は、共济組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

(4) 受講生は、【課題討論(12月9日)、総合討論(12月10日)】*に関して、討論の際の
発言用資料（A4版タテ1枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

※課題討論について

(目的) 設定課題について、現状や課題の整理及び多面的な対応策の検討を行い、課題
解決に向けて論理構築等を訓練・学習することをねらいとして実施します。

(実施) 受講生はグループに分かれ、事前提出資料等に基づいて各グループで討論し(グ
ループ内討論において各自作成資料の発表の場合あり)、その後、全体で各グ
ループの発表を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

(その他) 各受講生の事前提出資料及び各グループ発表資料は、受講者全員に配布します。

※総合討論について

(目的) 受講者が担当する地域や業務で抱えている課題を解決するための情報収集をね
らいとして実施します。

(実施) 全体討議方式にて、各受講者が事前提出資料等に基づいて説明を行い、受講者
及び助言者と意見交換を行います。

(その他) 各受講生の事前提出資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568 (ダイヤルイン)